

被保護者名簿

（宿泊型保護事業用）

種別	氏名 生年月日	委託		任意		備考
		保護開始 年月日	保護終了 年月日	保護開始 年月日	保護終了 年月日	
()	年 月 日生					

（通所・訪問型保護事業用（甲））

種別	氏名 生年月日	保護開始 年月日	保護の内容	備考
()	年 月 日生			

（通所・訪問型保護事業用（乙））

種別	氏名 生年月日	保護開始 年月日	保護の内容	備考
()	年 月 日生		1 金品給与 帰住旅費 () 食事費 () その他 () 2 ()	

（備考）

1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 「種別」の欄には、次のとおり種別の番号を記載すること。

(1)保護観察処分少年 (2)少年院仮退院者 (3)仮釈放者 (4)保護観察付執行猶予者

(5)刑執行停止中の者

(一)刑執行終了 (二)刑執行免除 (三)保護観察付執行猶予確定前 (四)単純執行猶予

(五)起訴猶予・処分保留 (六)罰金・科料 (七)労役場

(A)退院・仮退院期間満了 (B)実刑部分執行終了 (※)

(7)保護観察終了 (i)法定期間満了

(※)「(B)実刑部分執行終了」は、拘禁刑につき刑の一部の執行猶予の言渡しを受け、その猶予の期間中保護観察に付されなかった場合であって、その刑のうち執行が猶予されなかった部分の執行を終わったとき（その執行終了時に他に執行すべき拘禁刑があり、その刑の執行を終わったときを含む。）をいう。

3 通所・訪問型保護事業用（乙）の記入に当たっては、次の事項に留意すること。

(1) 「保護の内容」の欄には、金品給与の場合には区分に応じて括弧内に給与した額を記入し、金品給与以外の場合には「2」にその内容を記載する。

(2) 「備考」の欄には保護の実施上特記すべき事項を記載するとともに、貸与した金品の返還があったときは、その日付、金額又は数量を記載する。